

# 学びのR

No.19 (平成31年3月)  
埼玉県教育局南部教育事務所  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

## \*\*\* 「主体的・対話的で深い学び」で授業改善⑨ \*\*\* ～特別活動の学習指導の充実～

\*今回は、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、特別活動の授業改善を考えます。

次期学習指導要領では、特別活動におけるこれまでの目標を整理して、資質・能力を育成する上で重要な視点を「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つに整理しました。

人間関係形成：違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てる  
社会参画：よりよい集団や社会をつくらうとする力を育てる  
自己実現：なりたい自分に向けてがんばる力を育てる

### 特別活動の特質に応じた見方・考え方 ⇒ 「集団や社会の形成者としての見方・考え方」

各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること。

#### 具体的には、どんな見方・考え方なの？

年齢や性別、考え方  
や関心、意見の違い  
等を理解した上で  
認め合おうとする

互いのよさを  
生かすような

よりよい学級・学校  
生活づくりなど、集  
団や社会に参画し、  
様々な問題を主体的  
に解決しようとする

集団での関わりを通して、自  
己の理解を深め、自己のよさ  
や可能性を生かす力を養うと  
ともに、自己の在り方や生き  
方を考え、設計しようとする

これらは、やがて社会に出ていく児童生徒が社会生活を送る中で、  
遭遇する様々な場面で必要となる見方・考え方

例えば、「職場や地域で生じた問題を同僚や地域の人々と話し合っ解決する」「地域や社会の活動に参画したり、地域行事等に進んで参加したりする」あるいは「自分が中心となって何かを企画したり、物事を進めたりしなければならない」…そのような場面で必要になってきます。

### 特別活動の果たす役割は大きい。だからこそ、特別活動で身に付けさせたい資質・能力は…

#### 《知識・技能》

- ☆話し合いの進め方
- ☆賛成や反対、質問などをする
- ☆よりよい合意形成や意思決定の方法
- ☆協働して実践するための役割分担の方法
- ☆役割の遂行や協力の大切さ
- ☆集団でなくては成し遂げられないこと
- ☆集団で行うからこそ得られる達成感
- ☆様々な困難を乗り越えるために必要なこと

#### 《思考力・判断力・表現力等》

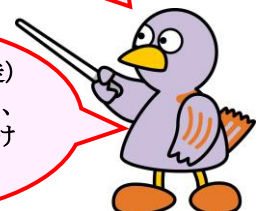
- ☆解決すべき問題を発見する力
- ☆人間関係をよりよくするための力
- ☆よりよい合意形成や意思決定する力
- ☆様々な場面で多様な他者と協働しようとする力
- ☆今の自分、これからの自分を追求する力
- ☆多様な考えや意見を分類したり整理したりする力
- ☆決めたことを実践する力
- ☆目標や計画を評価したり修正したりする力

#### 《学びに向かう力、人間性等》

- ☆多様な他者の価値観や個性を受け入れ、助け合ったり協力し合ったり、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度
- ☆よりよい学級・学校生活づくりを目指して主体的に問題を解決しようとする態度
- ☆多様な他者との違いや多様性を認め、生かし合いながら協働して活動に取り組もうとする態度
- ☆現在及び将来の自己の課題を発見し改善して、よりよい生き方を追求していこうとする態度

特別活動で身に付けさせたい資質・能力の例。

学級活動、児童(生徒)会活動、クラブ活動、学校行事で身に付けさせます。



# 特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

## 【主体的な学び】

学級や学校の実態、自己の現状に即して自ら課題を見だし、解決方法を実践したり振り返ったりしながら、生活をよりよくしていこうとする

## 【対話的な学び】

生活上の課題を解決するために合意形成を図ったり、意思決定したりする話し合いの中で様々な意見に触れ、考えを広げたり多面的・多角的に考えたりする

## 【深い学び】

「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら、問題の発見、課題の設定から振り返りまでの一連の活動を繰り返す中で各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を総合的に生かし、知識・技能などを集団及び自己の問題の解決に活用していく

## 例：話し合いを通して授業改善！【学級活動(2)における主体的・対話的で深い学びの授業】

教師の発問

児童の発言

※1→6の順に進む

1

カゼをひかないようにするにはどうしたらいいかな？

うがいをする

手を洗う

マスクをする

換気をする

なるほど、予防だね。他には？

う～ん？

3

予防をすればカゼをひかないのかな？

ぼくのお父さんは、お風呂から出たらすぐに服を着なさいって言うなあ…。

わたしのお母さんは、すぐに髪を乾かしなさいって言うわ。

児童生徒の主体的な学びを促す発問

4

児童生徒の主体的・対話的な学びを促す発問

それは、どういうことだろう？

体を冷やしたらカゼをひくってことかな？

たしかに…。冬はカゼやインフルエンザが流行するよね。

夏でもおなかを冷やしたらカゼをひくよね。

冬の薄着もよくないよね。

《教師が留意すべき点》

◇児童生徒の話し合いの状況を注意深く聞き取り、状況を適切に把握していますか？

話し合いの様子をただ見守るだけではねらいを達成できません。例えば、「話し合いが話し合うべき内容からそれている」、「意見が対立して収まらない」と判断したら、機会をとらえて助言すべきです。

5

話し合いの中で様々な意見に触れ、考えを広げたり多面的・多角的に考えたりすることに向かう児童生徒の考えや意見、疑問

でも、暑い国に住んでいる人だってカゼをひくわよ？太郎さんは冬でも半袖・短ズボンだけど、いつも元気よね？

6

児童生徒の深い学びへと続く話し合い活動

食事も関係しているのでは？

- ・栄養バランスは？
- ・量は？ 食材は？
- ・1日3食が大切？

睡眠時間や運動も？

- ・1日何時間寝ればよい？
- ・どんな運動がよい？

《授業後に期待する児童生徒の姿》

カゼをひかないようにするために予防は大切である。それだけではなく、そもそも少しくらいのことではカゼをひかない体づくりが重要である。そのことについて、正しい知識を理解して、健康の保持・増進のための運動、望ましい食生活、適切な睡眠や休養、規則正しい生活を実践する姿。

## 児童生徒が合意形成や自己決定し、決めたことを実践するために教師が抑えるべき点は？

- ◇課題や議題は、児童生徒が自分事として捉えられるものになっていますか？  
何のために学ぶのか、話し合うのか。児童生徒にしっかり理解させ、興味を持たせることが大切です。
- ◇振り返る視点を示していますか？  
児童生徒が今日の学習活動を通して、自分の考えがどのように変わったのか、思考の過程がわかるよう、振り返る視点を示しましょう。合意形成や自己決定したことを自分はどう実践していくのかを、しっかり考えられる時間を確保することが大切です。

引用・参考 「小学校学習指導要領解説 特別活動編」 文部科学省  
 「中学校学習指導要領解説 特別活動編」 文部科学省  
 「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動」 国立教育政策研究所

「学びのR」  
 はこちらから  
 も御覧いた  
 けます！